

自然環境保護・保全事業

セブン-イレブンみどりの基金は、日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に受け継いでいくために、さまざまな団体とパートナーシップを組み、自然環境保護・保全活動を推進しています。

三宅島緑化プロジェクト

2000年(平成12年)の雄山の大噴火により、全島民が島外に避難する大きな災害に遭った三宅島(東京都)の森林を再生するために、都内の高校や大学と連携して植樹活動をしているNPO法人園芸アグリセンターの「三宅島緑化プロジェクト」に対し、みどりの基金は2008年度から3年間の協定を結び、活動の支援を開始しました。6月の植樹には202名で約4,000本、11月には178名が参加し3,800本の植樹と花壇を3カ所作りました。

11月には、セブン-イレブン本部社員による三宅島の植樹活動を実施しました。



セブン-イレブン本部社員の植樹活動

支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり

北海道森林管理局・石狩森林管理署と3年間の「国有林における森林整備等の活動に関する協定」を結び、2004年(平成16年)9月に台風被害にあった支笏湖周辺の森林再生のために、市民が「森の育て親」になって100haの大地に10万本の植樹を行う「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」に取り組んできました。

2009年(平成21年)以降は、実行委員会がNPO法人化して森づくりを行っていきませんが、みどりの基金も引き続きこの活動を支援していきます。



2008年春植樹

霧多布湿原保全運動

認定NPO法人霧多布湿原トラストとパートナーシップ協定を結び、霧多布湿原(北海道)の民有地などを取得し、保全していくナショナルトラスト活動を行っています。2008年度(平成20年度)は新たに約137haを取得し、これまでに取得した湿地は累計で約336haとなりました。今後も大切な自然を残していくために保護・保全活動を続けていきます。



木道作業



霧多布湿原はラムサール条約登録湿地
撮影:ノーザンビレッジ 北村 康春

東京都千代田区の桜の保護活動

東京都千代田区内には、千鳥ヶ淵をはじめとした桜の名所がたくさんあります。しかし多くの木が、病害虫の被害を受けたり樹勢が衰退しています。桜の樹勢回復を図るために、NPO法人東京樹木医プロジェクトと千代田区さくらサポーター事務局が連携し、共同で樹木医が有する知識と技術を活用した「さくら教室」を開催しています。みどりの基金は2008年度から3年間「さくら教室」の活動を支援しています。



全国桜100選の一つに選ばれた千鳥ヶ淵の桜

九重ふるさと自然学校

2007年(平成19年)4月に、「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を基本理念としたみどりの基金の自然学校が大分



県玖珠郡九重町に開校しました。自然学校では、大分県でラムサール条約に登録されたくじゅう坊ガツル・タデ原湿原、くじゅう山系などの自然の保護・保全活動や休耕田・棚田再生、有機無農薬の米づくり、炭焼きなどの里地里山の保護・保全活動に取り組んでいます。



田植え



野鳥観察

富士山地域環境保全活動

富士山地域の環境問題を解決するために、NPO法人富士山クラブの活動を支援しています。今年度行った82回の清掃活動では、延べ6,739人が

が参加し、約58tのごみを回収しました。地球温暖化を止めるという大きなテーマに、ふるさとの山や川、湖、海、街の環境を守ろうと全国で展開した「第2回ふるさと清掃運動会」には、セブン-イレブン全店舗に参加者募集のポスターを掲載して協力。28都道府県3万3千人が参加しました。

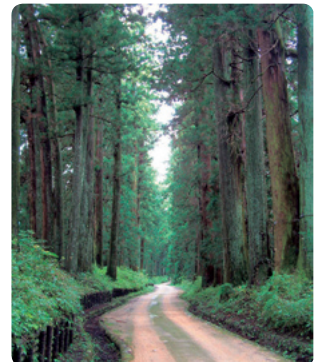


富士山清掃

「第2回ふるさと清掃運動会」に協力

日光杉並木保護活動

栃木県の「日光杉並木街道」は、日本で唯一国の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けている貴重な文化遺産です。しかし、生育環境の悪化や杉自身の高齢化等により、年間平均50本の杉が枯れるなど、このままでは近い将来杉並木の景観が失われてしまう危機的な状況にあります。杉並木を保全するため、日光杉並木保護財団と一緒に約12,600本の日光杉並木の保護活動を行いました。



樹齢380年を超える日光杉並木街道